

2019年 4月 4日

京成電鉄株式会社

訪日外国人のお客様へのご案内をよりスムーズに！

74言語対応の携帯型自動音声翻訳機

「POCKETALK®(ポケットーク)W」を京成線全駅に導入しました

3月28日(木)

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、2019年3月28日(木)に、74言語対応の携帯型自動音声翻訳機「POCKETALK®(ポケットーク)W」を、京成線全駅に計90台導入しました。

「POCKETALK®(ポケットーク)W」は、ソースネクスト(株)が提供するサービスで、話した内容を選択した言語(全74言語)に瞬時に翻訳し、自動音声でご案内できるものです。小型・軽量で持ち運びが可能であり、改札口から離れて業務を行う駅係員が携帯することで、ホーム等においても多言語での迅速なご案内が可能となります。

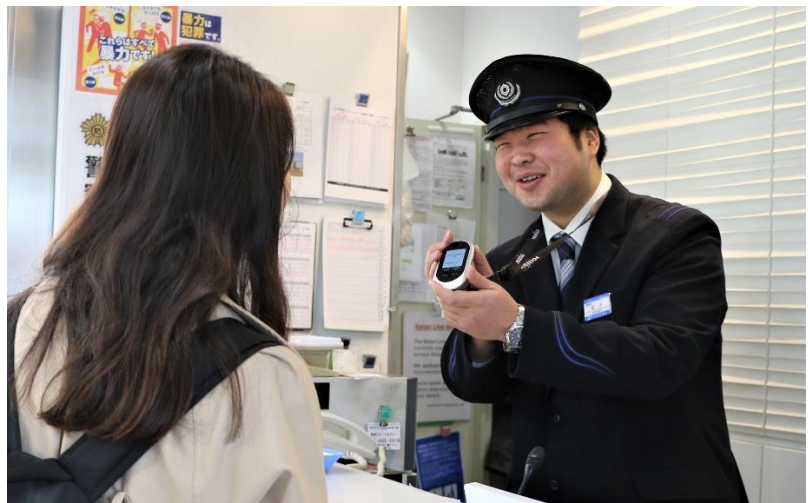
当社は成田空港アクセスを担っており、これまでも多言語表示の推進や多言語音声翻訳アプリを搭載したタブレット端末の設置等、訪日外国人のお客様へのご案内強化に取り組んでまいりました。本サービスは、増加傾向にある訪日外国人のお客様に対し、より迅速かつ分かり易いご案内をするため実施するものです。

京成電鉄では、訪日外国人のお客様により便利に、安心して日本の旅行をお楽しみいただけるよう、今後もサービス向上に努めてまいります。

本件の概要は次頁の通りです。



POCKETALK®(ポケットーク)W



使用風景(イメージ)

「POCKETALK®(ポケットーク)W」の導入について

1. 導入機器 POCKETALK®(ポケットーク)W
提供会社:ソースネクスト(株)(本社:東京都港区、社長:松田 憲幸)
詳細URL:<https://pocketalk.jp/>
2. 導入日 2019年3月28日(木)
3. 導入駅 京成線全駅
※成田スカイアクセスの東松戸駅、新鎌ヶ谷駅、千葉ニュータウン中央駅、
印旛日本医大駅を除く

以上